



平成26年九州支部秋の行事のご報告

諫早高校出前講義・バイナリー発電等の合同見学会

・支部総会・島原半島ジオパーク見学

九州支部では去る平成26年12月6日、7日に秋の行事を行いました。今回は、諫早高校にてエネルギーに関する講義と実験授業を行うとともに、小浜温泉にあるバイナリー発電とバイオディーゼル燃料製造設備の合同見学会を行いました。16名の会員の皆様に加え、諫早高校から40名の生徒と3名の先生がご参加下さいました。支部単独の行事としては最大規模で、大変賑やかな行事となりました。以下概要をご報告いたします。

出前講義は、諫早高校の理科教室を借りて理数系の2年生のクラスを対象に実施しました。今回は生徒に実験も体験していただくので実験指導メンバーは前日から諫早入りし周到に準備を進めました。最初の講義では、小浜温泉のバイナリー発電システムの開発者である松村昌義さん（1979年卒）が開発の経緯、メカニズム、開発ポイント、今後の適用拡大用途等につき、わかりやすくご説明下さいました。続いて、藤川卓爾さん（1967年卒）がエネルギーの話という演題

で、人類が有史以来どのようにエネルギーをあやつってきたか、技術イラストのみならず、平安朝の絵巻物やドンキホーテの挿絵などさまざまな資料を用いながらおもしろくご説明下さいました。

後半の実験タイムでは、風力発電風車、簡





易直流モーター、リニヤモーターカー（船？）、蒸気発電システムの試作に生徒さんと共に挑戦しました。どれも藤川さんが独自にご考案された実験装置で、諫早高校の生徒さんの方々も参加会員の皆様も必死に取り組んで下さいました。成功した実験、失敗した実験等々ありましたが、少なくとも多くの生徒さんの心にもものづくり技術の面白さを伝えることが出来たのではないかと思います。圧力釜の蒸気を用いた発電実験では発電に必要なタービンの回転力を確保するのに一苦労し、参加した会員の方がすっかり熱くなってしまいました。若い頃の純粋な技術への好奇心がよみがえってくるようで、皆、高校時代の心持ちに立ち返って生徒さんと一緒に楽しい時を過ごしました。

お昼には、会員が分かれて生徒さんの席にお邪魔し、ミニ昼食会を行いました。高校生活のこと、進学のこと、京大のこと、社会人になってからの仕事のこと等、生徒さんとざっくばらんないろんな話をしながら、懇親しました。

午後からの合同見学会では40人乗りバスで生徒さんと会員と一緒に移動しました。道すがら、バスの中では川口東白さん(1959年卒)、矢辺保行さん(1982年卒)、蓮尾昌裕さん(1986年卒)がマイクを持って生徒たちに語りかけて下さいました。未来を切り拓く上での人生の貴重なアドバイス、阪神電車と車両の意外な事実、京大と京大生の魅力等々、高校生にとってなかなか聞けない貴重な話ばかりで、生徒さんは皆、真剣に聞き入っておられました。



小浜温泉では、概要説明を受けた後、徒歩で①温泉熱バイオディーゼル燃料製造プラント、②温泉熱製塩プラント、③日本最長の足湯、④温泉バイナリー発電プラント、の順で見学しました。小雪舞い散る肌寒い天候でしたが、生徒さんたちは会員の皆さんと共々元気に見学して回られました。後半にはユーモアあふれる質問も飛び出し、生





徒さんのまじめな姿勢と明るく素直な性格がとてもまぶしく感じられました。野球部のエースで九州大会ベスト8進出の立役者だったという生徒さんは練習中にけがをして松葉杖で参加されたのですが、急な階段やバスの乗り降りもものともせず、笑顔を絶やさず最後までおつきあい下さいました。何を見ても笑ってばかりで明るく振る舞う女子生徒さんたちも大変魅力的でした。(箸が転んでもおかしい年ごろなのではないでしょうか)

今回のイベントのテーマは、少し大げさに言えば、文明発祥から人類が向き合ってきた「エネルギーを正しくあやつり永続的に繁栄を続けるために、人類は何をすべきか」という問題を生徒さんに考えていただくことにあつたといえます。

そのために、①人類とエネルギーの関わり合いの歴史と最新技術の講義、②エネルギーをあやつる基本技術の実験、③地元にある地熱を活用を目指す新たな試みの現地視察、④技術の第一線で働いてきた先輩との交流、の4つの機会を諫早高校の生徒さんたちに提供しようと試みました。





この機会に生徒さんたちが上記のエネルギーの問題に少しでも想いを馳せて頂けたなら今回のイベントは大成功であったと思います。見学会の最後に京都大学工学部を志望している生徒さんが代表して謝辞を述べて下さいました。今後、諫早高校から工学系分野、特に京大を目指す生徒さんが増えるといいですね。

(つづく)



1. ベルギー王国の概要

ベルギー王国は中欧に位置する連邦立憲君主制国家で、隣国のオランダ、ルクセンブルグと併せてベネルクス三国と呼ばれる。面積約30,500平方kmの国土に、約1,100万人が住むベルギーは、オランダ、ドイツ、ルクセンブルグ、フランスに国境を接し、北海を挟んで英国と対峙する小国である。欧州連合(EU)の原加盟国であることや、地理的に欧州のほぼ中央部に位置する交通の要衝にあり、EUの主要機関の多くがブリュッセルに置かれているため、EUの首都とも言われている。憲法上の首都はブリュッセル首都圏の自治体の一つブリュッセル-ヴィル(県)である。19世紀にネーデルランド連合王国から独立した国家で、フラマン語が公用語の北部フランデレン地域と、フランス語(一部ドイツ語圏を含む)が公用語の南部ワロン地域にほぼ二分される。建国以来、単一国家であったが、フラマン語系住民とフランス語系住民の対立が続いたため、1993年にフランデレン地域とワロン地域ならびにブリュッセル首都圏の三区域を主体とする連邦制に移行した。この複雑な国内状況が原発問題に微妙な影響を落としている。

2. ベルギーの歴史

ベルギーと称される地域には、旧石器時代ごろから農耕と漁労を主とする人類の定着が認められている。新石器時代に入り、大西洋の海進(注)によって温暖化が進むと中央ヨーロッパから移住してきた種族が定住を始め、牧畜技術の移入と農耕技術の革新をもたらした。こうした民族と文化の移入は紀元前1000年頃まで続き、社会的組織の構築や金、銅、錫の生産、ドルメン文化移入の跡が見られる。またこの時代に地中海世界の広い範囲で行われていた交易に参加していたとも考えられている。紀元前6世紀ごろになると、ケルト人が到来し、彼らの移住によって火葬の文化や鉄器がもたらされた。紀元前後になるとローマ人との接触がはじまり、カサエルが紀元前57年に記した「ガリア戦記第二巻」に、この地に居住する民族について初めて言及がなされた。カサエルは同地に居住するケルト人の多くを総称してベルガエ族と呼んだ。彼らは多くの部族にわかれてベルギー地方で生活していたが、ガリア戦争を経て同地は紀元前51年にガリア・ベルギカとしてローマ帝国の属州となった。3世紀に入り、海進(注)によって居住地を失った人々が大規模な移住を始めた。このためフランク族がローマ帝国に侵入を始め、ライン川の近郊の都市が占領され、帝国の国教はブローニュとケルンを結ぶ道路線まで後退した。こうして北部ではゲルマン人の定着に伴うフランデレン語が、南部ではワロン語が浸透していき、その

結果生まれた境界線は以降のベルギーにおけるラテン系・ゲルマン系という民族紛争、言語戦争の起源となった。7世紀中ごろになるとアウストラシア宮宰としてピピン2世が頭角を現し始めた。687年オーストリアを倒し、732年ウマイヤ朝を破り、731年にはピピン3世がクーデターを断行してメロヴィング朝に代わり、カロリング朝が興った。754年、ランゴバルド王国を討伐して獲得したラヴェンナを教皇に寄進することにより宗教的後ろ盾を得ることとなり、フランク王国は宗教的国家という特色を持つようになった。カール大帝の時代になるとフランク王国は現代のフランス・ドイツ・イタリアに当たる地域を統一し、東ローマ帝国をしのぐ大国となった。800年、サン・ピエトロ大聖堂においてレオ3世より西ローマ帝国の帝冠を授与された。民族大移動以来、混成していた西ヨーロッパが東ローマ帝国から独立した存在としてまとめ、新しい文化圏を形成した中世ヨーロッパ世界が確立した。

14世紀の歴史については割愛するが、13世紀から20世紀にかけて、戦争でなく、婚姻によって強国との結びつきを作る手段で勢力を伸ばし、オーストリア・ハンガリー帝国を築いたハプスブルグ王朝は近代歴史に大きな影響を残したことで特筆すべきものであった。

3. ベルギー国内の観光・物産

ベルギーの首都ブリュッセルは日本からの直行便が無く、交通の便が悪いが、以前にはベルギーエアラインが成田からブリュッセルまで不定期便を運航していた時代があった。NUPEC への出向期間中に理事長のお供でベルギーとフランスの国境に近いChooz 原子力発電所を訪問した時のことである。この発電所はEDFの最新・最大容量の1,500MwPWR2基が建設されたもので、フランス側も見学を歓迎していた。パリ大使館駐在の元担当官庁の0課長がブリュッセルまで出迎えに来られていた。ブリュッセルは同課長の手配でホテルが予約されており、訪問初夜を快適に過ごしたのである。原発の見学後ホテルに戻り、翌日は同課長の案内で市内の目ぼしい場所を見て回った。目ぼしいところはグラン・プラス広場で、有名な旗投げ祭りの会場である。長方形の大きな広場で、周りには有名なゴディバチョコレートの本社売店、ブティック タンタン専門店、市庁舎(60mもある尖塔で有名)、特産品のレース細工物の売店等、興味深い施設や店舗が並んでいる。有名な小便小僧の銅像も広場から少し離れたところにある。

ベルギーが独立国家として存在する以前、ナポレオン率いる12万のフランス軍と英国のウェリントン将軍およびプロシアの連合軍21万とが戦ったワルテローの古戦場が現在のブリュッセルの直ぐ近くにあり、一度見ておくように昔のアルゴンヌ原子炉学校の友人に勧められて見に行ったことも思い出の一つになっている。

4. ベルギー駐在の日本人家族との再会

9 年来の親友 A 君が、自動車マニアの夢を捨て切れずダイハツに就職し、この時ブリュッセルに同社の営業所長として駐在していた。彼とは中学入学から大学卒業まで一緒だったので、兄弟のいない私にとっては 1 歳違いの弟のような思いで付き合っていたのである。ブリュッセルの彼の住まいを訪問すると、とんでもない広大な建物を丸々社宅としていたので、驚いて質したところ、ヨーロッパの片田舎で暮らすのにはせめて大きな立派な住居を与えないと暮らしに楽しみが無いと、会社が金を出して買い取ったとのこと、海外に社員を派遣する対策としては日本でも珍しく立派なものだと感心した。彼が風邪をひいて寝込んだので、奥さんを有名なレストランのバイキング昼食に誘って感謝されたことがあった。私はアルゴンヌの同窓生の紹介で、小さいが小奇麗で感じの良い落ちついたホテルに宿泊した。

ゴディバの支店は世界中にあるが、当時は日本には無かったので、お土産として喜ばれたものであった。

注：海進：土地の沈降または海面の上昇によって陸地に海面が侵入すること(transgression: インタープレス版科学技術 35 万語大辞典および研究社 New English-Japanese Dictionary)

(おわり)

蒸気タービンの歴史 (その 20)

The History of Steam Turbine

藤川 卓爾 (昭和 42 年卒)

転載元：火力原子力発電技術協会，
「火力原子力発電」，Vol. 61, No. 9, pp. 36-61, (2010-9)

10. 翼列性能の向上⁽²⁹⁾

10.1 翼の発展の歴史

蒸気タービンの高効率化のために、熱力学的な蒸気条件の向上とともに、流体力学的には翼列性能の向上のための開発がなされてきた。翼の加工方法の進歩とともに翼列性能の向上が図られてきたが、これまでの発展の歴史は大きく分けて次のような段階を経てきた。

10.1.1 板曲げ翼の時代

最初のパーソンスタービンには6.2節の写真10のようなディスクからの削り出し翼が使用された。その後、棒材から羽根を作り、ロータに溝を掘って羽根とスペーサを交互に入れるものになった。

初期の蒸気タービンには、板を曲げただけのノズルや動翼が使用されたこともあるのではないかとと思われる。板曲げ翼は、翼の工作上は非常に簡単であるが、性能は低い。

10.1.2 平行翼の時代

その後、蒸気通路に沿って翼の厚さが滑らかに変化するプロファイル翼が使用されるようになった。また、第2次世界大戦後には、翼列風洞を使用して翼列の性能を向上するための翼プロファイルの改善がなされた。

翼プロファイルが翼の高さ方向に同一であるものを平行翼と呼んでいる。平行翼は加工し易いので翼の工作上都合が良いため、長い間、低圧タービンの最終段付近の長翼を除く大部分の段落に使

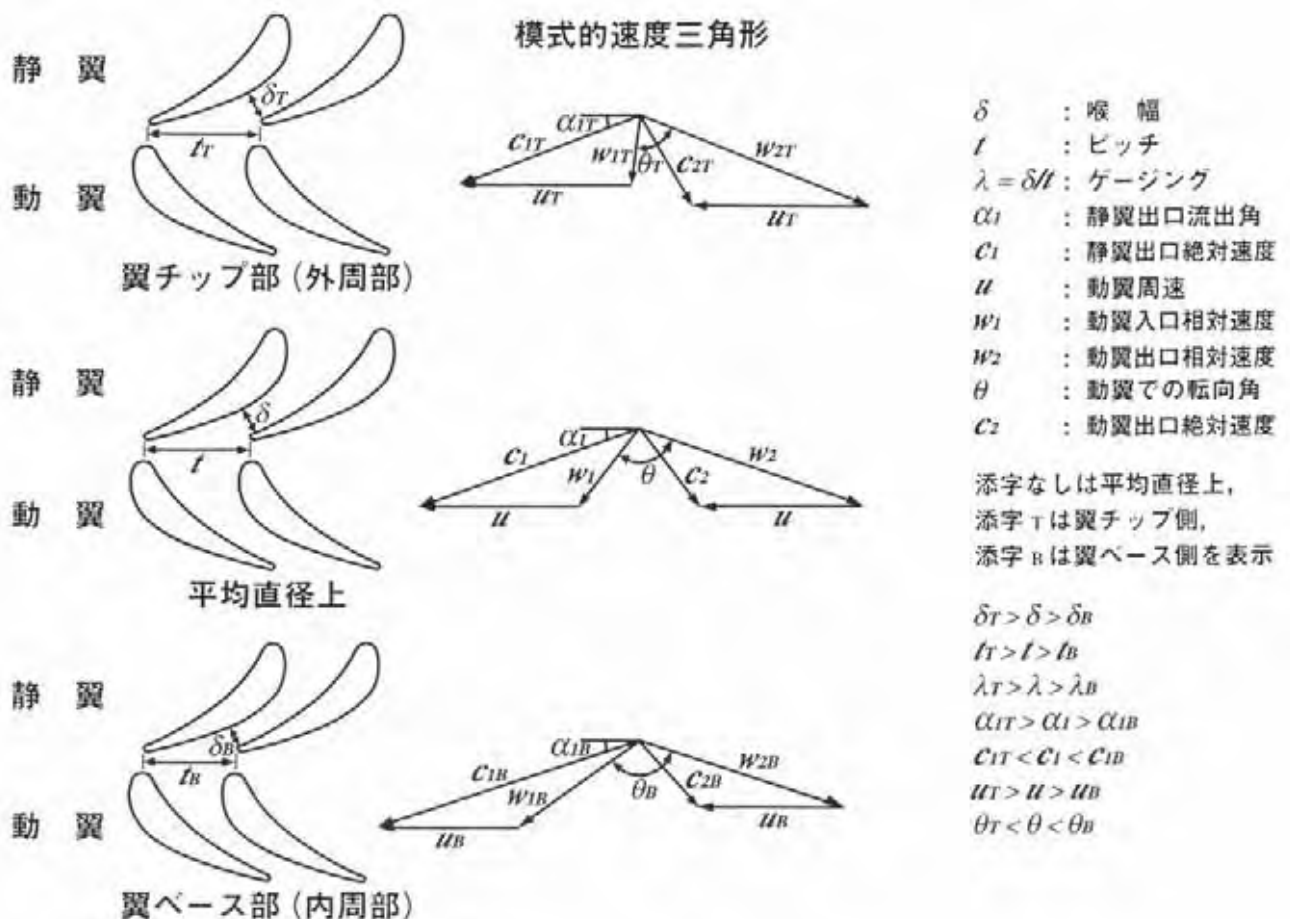


図 41 平行翼の翼高さ方向の状態変化

用されてきた。平行翼のプロファイルの改善は、平均直径上の速度三角形とそれに対応する各損失係数の実験値を基になされてきた。

10.1.3 振り翼の時代

平行翼は平均直径上で最適化されているにも、翼チップ部(外周部)や翼ベース部(内周部)では動翼の周速度が異なる上に、ピッチが異なるためにゲーシング(翼列蒸気通路の喉幅とピッチの比)が異なり、図41に模式的に示すように平均直径上の状態とは異なってくる。すなわち、外周部はピッチが大きくなるが、それ以上に喉幅が大きくなってゲーシングが大きくなる。逆に内周部はゲーシングが小さくなる。また、静翼出口では蒸気の流れは旋回速度成分を持つため、遠心力により動静翼間の圧力分布は内周側から外周側に向かって高くなる。これらにより次のような不都合が生じる。

(1)内周側では動静翼間の圧力が低い、すなわち静翼での圧力差が大きくなるために、静翼出口の蒸気絶対流速が大きくなる。また静翼出口の蒸気流出角度が小さいので、動翼入口での相対的蒸気流入角度が小さくなる。一方、動翼出口での相対的蒸気流出角度も小さいので、動翼における蒸気の転向角が大きくなり動翼での損失が増大する。蒸気の転向角が大きい場合に損失が大きくなるメカニズムは、次の通りである。

- ・翼列蒸気通路の中では翼のプロファイルに沿って蒸気の流れ(主流)が方向転換する。
- ・このとき、方向転換で生じる遠心力と翼プロファイルの腹面から背面へ向けての圧力勾配がバランスしている(図42)。
- ・これに対し、翼列通路の内周側、外周側の壁面の近くでは境界層が発達し、主流に比べて蒸気流の速度が小さくなる。

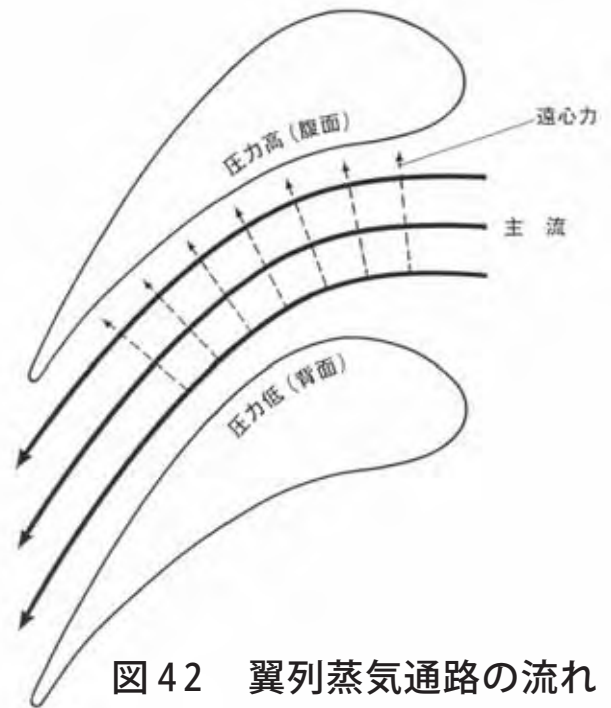


図42 翼列蒸気通路の流れ

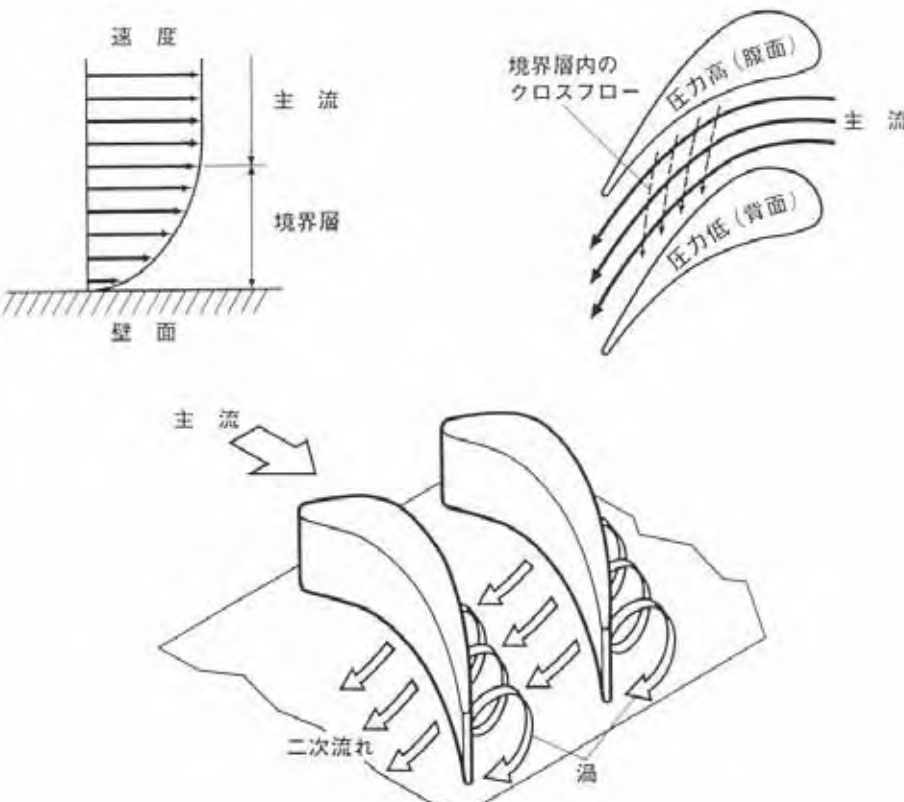


図43 壁面付近の流れ

- ・一方、境界層内部の圧力は主流の圧力が伝播する。したがって、翼プロファイルの腹面から背面へ向けての圧力勾配によって境界層内の蒸気の流れは主流より曲率半径が小さくなって、圧力の高い腹面側から、圧力の低い背面側へ移動する。
- ・すなわち壁面近傍では流線が主流と異なりクロスフローが発生する。
- ・境界層内の低エネルギー流体は、クロスフローによって翼の背面側に集積し、渦となって大きなエネルギー損失を伴って翼後縁から流出する。これを二次流れ損失と呼ぶ(図43)。

上記の現象は轉向角が大きいほど著しくなる。したがって、2次流れ損失は轉向角が大きいほど大きくなる。

(2)逆に外周側では動翼での圧力差が大きいため、動翼先端の回転部と静止部の間の遊隙における蒸気の漏洩損失が増大する。

これに対して、静翼や、動翼のプロファイルを翼の高さ方向に変化させることによって、動静翼間の圧力分布を内周側から外周側までほぼ一様にする、この不都合をなくすることができる。このようにして作られたのが振り翼である。

振り翼は平行翼に比べて形状が複雑になるので加工が難しいが、工作技術の発達に伴って広く用いられるようになった。

(つづく)

昆明滞在記

その六

1976年卒 田中 庸彦

昆明に来て最初の一ヶ月間は、中国語の勉強のためにとテレビを良く見ていた。すると、「中国の夢」という言葉が入った歌が頻繁に流れ出てくる。一部の歌詞を覚えてしまった。

美麗的中国夢繁栄花盛開

美麗的中国夢深情向未来

「夢に向かって走って行こう」という熱い気持ちがテレビから溢れ出てくる。経済成長とともに強国へ昇りつめようとする過程、その真只中にいる。中国語の勉強もさることながら、この躍動している国の中国人を遠い日本から眺めているだけではなく、彼らがどのような感性を持ち、何を考えているのかを実際に確かめたかった。日中関係がこの数年来益々悪くなっている中、11月17日の新華社は、中国の印象が「良くない」と回答した日本人が93%に達し、過去10年で最低の数字になったことを指摘した上で、国の外交問題などで日本の国民感情が左右されることもあまりない。中国人の反日感情や中国で起きた反日デモに対する反感である。と報じている。正しい指摘であると思う。数か月の中国滞りで、いろいろな中国人と接触し言葉を交わした結果、感じたことを書いてみたい。

私の中国人との接触は、日本にいるときから平均的日本人に比べるとはるかに濃く、孔子学院で中国語を勉強していた時に更に深まり、ホストファミリーとして中国人留学生を世話したことから、益々深まった。その経験は、驚くべきことが多かったと言っていい。

25 年程前、東京の中国語学校で一年間学んでいた時天安門事件が起こり、その学校で中国人留学生を招いて、直接話を聞く会が催されたことがある。招かれた中国人留学生が開口一番、あなたたち日本人は、天安門事件の事を聞く必要はありません。南京虐殺の話聞きなさい。と言われ、60 分間説教された。その会に集まった日本人は20 人強いたと思うが、(その当時の私を含め) 誰一人として反論しなかった。いや、反論できなかった。これが平均的日本人ではないかと思う。数年前、孔子学院でアルバイトをしている中国人留学生と出会い暫く話し込んでいたら、それまでの話の脈絡とは関係なしに、この若者が突如「決して許さない、決して忘れない」と言い放ち、啞然としたことがある。彼は京都大学に6 年間在籍し、中国人同窓生の会の副会長であった。ホストファミリーとして世話した中国人留学生の内二人と、日中歴史問題について話し込む機会があった。同じ話題になった時、二人が、同じ単語、同じ文章、同じ論理で、同じ事を言った。この二人は同席していたわけではなく、別の日に同じことばで語りかけてくるので、当惑したことがある。結論はひとつ、自分で考えた意見ではなく、教科書に書いてあることを丸暗記していて、二人ともそれをそのまま語ったのである。

街を歩けば、抗日記念碑が至る所にある。テレビをつければ、これでもかと抗日映画を放映している。これを子供のころから、見せつけられているのである。「洗脳」されない方がおかしい。私も一カ月のテレビ視聴で、「日本軍を殲滅せよ」と寝言で言っていたかもしれない。「満州事変」のきっかけとされている「柳条湖事件」の日には、9 月18 日83 周年「勿忘国恥・・・」とテレビ画面に映った瞬間に、孔子学院で出会ったあの若者のことを思い出した。彼は頭にすり込まれた言葉を吐きだしたただけである。中国人の若者は、自分の頭脳で議論できるほど歴史事実をよく知らないし、深く考えてもいない。そういう意味では、日本の若者と同じである。大学院生と話していても、「天安門事件」ですら、「自分が生まれる前の話なので・・・」とよく分からない風情である。一方、「共産党」や「民主化」については、かなりはっきりと自分の意見をもっている。それは自分の将来に直接関わるからである。若者たちは、今の繁栄への過程がいつ崩壊し、逆戻りするかもしれないという恐れをもっているようである。

今回、中国に来るにあたって、肝に銘じてきたことがある。それは、「中国で起こることはそのまま受け取り、日本の規範をもとに考えないこと」。すると、日本のニュースで批判的に見ていた彼らの日常生活が、ほとんど気にならない。いろいろなことはある。

青信号なので横断歩道を歩いていたら、右左折車がお構いなしに突っ込んでくるので、何度も引き殺されそうになった。ホテルのトイレから、糞尿がおとなしく下水道に流れないで、四六時中漏れているので修理を頼んだら、「大した問題ではない」と言われ啞然とした。同じテーブルに座った中国美女、小骨が口内に残ったのか、それをペッと吐き飛ばした。ドキドキしていた分、もんどりうって倒れそうになった。だから、中国人は・・・、という方は正しくない。それらをそのまま受け入れるように、こちらの頭のスイッチを切り替えればよいことである。ただし、ホテルの従業員が、私が日本人であることを確認してから、私の目の前でつばを吐いたのには少なからず面食らった。私が嫌な思いをしているのを、喜んでいる風でもある。しかし、これも子供のころから洗脳されていることを思えば、この程度で済んでいるのかと思ひ直すことはできる。この一人だけが特別だったのかもしれない。中国人は欧米人に負けないぐらい自己主張が強く、内田樹氏の「日本辺境論」にある「総理大臣から一国民まで、相手のことを考えて、自分の言動を決める」現代日本人の思考とは対極にある（注：現総理大臣は除く）。記者志望の学生と話している時、「重慶爆撃」の話から、「東京空襲」「原爆投下」の話になり、「日本人はどうしてアメリカ人を憎まないのですか？」、と言って私の顔を覗き込んだこの若者の顔が忘れられない。返す言葉に窮してしまった。「洗脳」されていると言えば、日本人の方がはるかにひどいのではないかと思う。

時にある、中国人の日本人に対する激しい言動を考える時、厳密に区別しなければいけないのは、欧米人のアジア人に対する抜けがたい人種差別（許されるわけではない）とは、もちろん別次元であることである。中国へ来る直前、「日本人はなぜ子供っぽく見えるのか？」というテーマの座談会に出席したことがある。京都大学博士課程在籍のハンガリーとグルジアから来た女子留学生が話していたが、私たち欧州人が感じたことを「お聞きなさい」と言う横柄な態度であった（その場で私が激しく反論しておいた）。日本文化が中国文化の下流にあるではないか、という言動を中国人から受けることはあったとしても、許されない人種（民族）差別というものは全く感じない。中国人から感じるはその全く逆で、日本（人）に「後れを取っている意識」である。それは、アジアの中で日本が先に欧米諸国に近づいたことと、日本人に自国を侵略されたことにある。その矛先が、欧米人に向かわずに同じアジア人の日本人に向かうこと自体が、「その意識の裏返し」である。

私の中国語学習は一応二年計画なのですが、昆明に来る前には、最初の四カ月（一学期）で中国嫌いになり、二度と長期滞在はしないと決心する可能性が70%ぐらいあると思っていた。ところが、幸いにも、いろいろな中国人と接触する機会があり、お互い本音で話す機会があり、実際、こちらの生活が結構楽しいのである。ただこれが、「昆明」という土地柄がそうさせているのではないか、という一つの疑問がある。来年3月からは、場所を変え大学を変え、中国語の学習を続け、その土地の中国人と話す機会を持ちたいと思う。

ところで、昆明に来て二日目に食べた、あの「鮮肉小籠包」の肉は、やはり普通の肉ではなかったと思う。昆明に来てからあの日だけ激しい腹痛で、夜、目が覚めた。

(つづく)

昭和31年卒同窓会(泰山会)報告

平成26年度泰山会総会を11月20日神戸で9名の参加を得て開催。まず神戸市役所の24階から秋晴れの神戸市街と四周の海・山の展望を楽しんだ後、灘の酒蔵の一つ酒心館を訪れ、銘酒の製造工程の見学と説明を受けたあと様々の銘柄の利き酒を楽しみました。豊富な銘柄には一同感嘆。そのあと館内の料亭で会食を摂りつつ尽きぬ様々の話題で再会の一夕を過ごしました。(友田記)



昭和53年卒学年同窓会

12月6日(土)に京都百万遍の「くれしま」で、卒業以来2回目の学年同窓会を行いました。

出席者は石山拓二、川口淳一郎、川崎博也、北川吉治、五味健、櫻井隆、沢田祐造、白井政雄、住田守、田畑勝治、千葉喜一、長野寛之、仁張修、上原一浩の14名。

2年前に初めての学年同窓会を行いました。37年ぶりの再会という人もおられ、3時間の時間が瞬く間に過ぎ去るひと時を過ごしました。宴の終わりには、琵琶湖周航の歌を皆で合唱しました。

今後は毎年開催しようということとなり、次回は2015年10月に集まります。なお、同窓会のご案内をメールで差し上げていますが、メールアドレスの不明な方もおられます。メール案内が届いていない方は 上原までお知らせください。



昭和55年卒 奥田 寛

以前「古いイタリア車」の話を寄稿したのですが、久しぶりに今回はその続編を書きたいと思います。

毎年のように故障して、部品の確保に苦労していた「ポンコツ車」ですが、2年前の「大故障」から復活して以来どういうわけか「ノートラブル」です。これは私にとって「奇跡的なこと」以外に何者でもありません。

さて、このような「古いイタ車(イタリア車)」を維持するのにどのようにしているかということ、非常に「レア」な車ではありますが、世の中には「変わり者」もそこそこいるようで、こんなポンコツ車が好きな「オタク」仲間の集まりがあります。私はもともと「オタク仲間」の集まりはあまり好きではなかったのですが、理由があって参加するようになりました。それは、今から4年前に大変大きな「エンジントラブル」に見舞われ、ほとんど復活をあきらめようとしていた時でした。藁をもすがる気持ちでインターネットを見ていると、ほとんど「絶滅危惧種」である「ランチア・テーマ」という車に特化したクラブを発見しました。早速その会に入会し、トラブルをインターネット掲示板に打ち明けたところ、メンバーの皆さんからいろいろアドバイスを受け、ついにあるメンバーの「予備車」(このような車を維持するのに余裕がある人は「部品取り車」として2台持つ人がいます)を格安で譲ってもらうことになりました。



その結果、2台の車のいいところを集めて1台の車に仕上げることにしました。これは修理するよりはるかに安価に、しかも「ええとこ取り」をしているので、以前より状態のよい車になりました。このようにして「オタク」の集いにどっぷりと入り込んだおかげで何とか維持できるようになりました。当初こんなクラブは「変人の集まり」もしくはスポーツカーオーナー会のような「成金の集まり」ではないかと危惧していたのですが、実は極めて紳士の集まりで、いわゆる「普通のサラリーマン」が多く、非常に居心地がいいことがわかりました。

この会で毎年1回秋に「全国ミーティング」と称した集まりが開催されます。今回は関西地区が幹事で「メナード青山」という三重県の山奥にあるリゾート施設で集合し、宴会&宿泊後、翌朝ワインディングロード走行というスケジュールで実施されました。「ワインディングロード走行」というといわゆる「暴走」と思われるかもしれませんが、決して「暴走」ではなく、小気味よくコーナーをクリアーして爽快感を味わうことです。「全国ミーティング」ということで、東は東京から、西は広島から「ポンコツ車」で乗り付けて来ました。故障したときを考えて遠方からは複数車で一緒に走って来るようです。まるで砂漠に行く探検隊の発想ですが・・・

さて、このような「オタククラブ」ですが、自動車の故障対応以外にもいいことがあります。昨年のことですが、昨今の就職難の中、姪の就職先が決まらず困っていたところ、希望職種に勤めるクラブ員がいたので相談したところ、たまたま希望職種の人材を探していたようで、運良く就職できました。プライベートの付き合いもきっとこれからも役立つことがあると思いました。皆さんも仕事以外に興味を持って、広くお付き合いされることをお勧めします。

この原稿は2014年1月に書いたものです。連載まで一寸、間が空いてしまったため、若干、現時点の状況にそぐわないところが出てきたのはお許し下さい。

第16話 帰途

面白く、多くのことが学べたロシア旅行でした。国はいざ知らず、個人では本当に人懐っこいロシア人。知り合いも増えました。

日本に帰ろうとすると、またまた来た時と同じルートで2日間かかります。モスクワでの1泊、フランクフルトでの時間待ちも同じです。時間を持って余し、どうしてもビールを飲んで飲んで、という状態になります。おかげで、羽田への帰国便の中ではよく眠れました。目が覚めると、夜明けで、下には霞ヶ浦と坂東太郎。綺麗な一日が始まります。だけどまたまた、羽田で3時間以上の待ち時間、そして伊丹から京都の自宅まで、モノレール・京阪・タクシー。長い旅もようやく終わりました。



丁度、一年が過ぎてしまいました。天変地異の続く先の見えないこのごろですが、来年が良い年になりますように。良いお年をお迎えください。

京機短信 世話人

1. 第6回 マイナンバー等分科会

H26. 11. 11

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai6/gijisidai.html

議 事

- (1) 開会
- (2) 座長あいさつ
- (3) 副大臣あいさつ
- (4) 各府省の取組状況について
- (5) 中間とりまとめ（マイポータル／マイガバメント（仮称））に対する検討状況について
- (6) 閉会

<配付資料>

【資料 1-1】 新戦略推進専門調査会マイナンバー等分科会構成員名簿

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai6/siryou1-1.pdf

【資料 1-2】 新戦略推進専門調査会マイナンバー等分科会の運営について

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai6/siryou1-2.pdf

【資料 2】 個人番号の利用範囲拡大の検討状況について（内閣情報通信政策監への報告）

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai6/siryou2.pdf

【資料 3】 マイナンバー制度全体の進捗状況

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai6/siryou3.pdf

【資料 4】 個人番号カードについて（総務省・地方公共団体情報システム機構提出資料）

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai6/siryou4.pdf

【資料 5】 法人向けポータルに関する検討状況（経済産業省提出資料）

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai6/siryou5.pdf

【資料 6】 マイポータル／マイガバメント（仮称）の実現に向けた検討について

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai6/siryou6.pdf

【参考資料 1-1】 マイナンバー等分科会 中間とりまとめの概要

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai6/sankou1-1.pdf

【参考資料 1-2】 マイナンバー等分科会 中間とりまとめ

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai6/sankou1-2.pdf

【参考資料 1-3】 マイナンバー制度の導入により効率的で利便性の高い電子サービスの実現（ロードマップ）

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai6/sankou1-3.pdf

2. マイナンバー制度で企業はどう変わる

日経ビジネス Online

2-1 業務に大きく影響するマイナンバー

2014. 11. 7

対応をおろそかにすると罰則の対象にも

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/opinion/20141104/273364/?P=1>

マイナンバーという言葉は、皆さんどこかで聞いた事があるであろう。国民1人ひとりに番号を付けて様々な分野で利用する制度である。そのマイナンバー制度がいよいよ始まる。2015年10月には各個人にそれぞれの番号「マイナンバー」が通知され、2016年1月から、社会保障・税・災害対策の分野で番号の利用がスタートする。

2-2 . 企業が行うべき準備作業は多い

2014. 11. 14

年内には体制づくりや予算確保に着手すべき

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/opinion/20141111/273682/?P=1>

前回、マイナンバー制度の開始に伴い企業は様々な対応が求められることを紹介した。また、その対応次第では企業は大きなリスクに直面する可能性があることも述べた。皆さんの中には、「制度開始まであと1年程度しかないのに、果たして対応が間に合うだろうか」と不安になられた方も多いと思う。今回制度の詳細を説明する前にお伝えしておきたいが、「今からしっかりと準備を開始すれば十分に間に合う」。その点に関しては安心して頂いても何ら問題はないと断言できる。